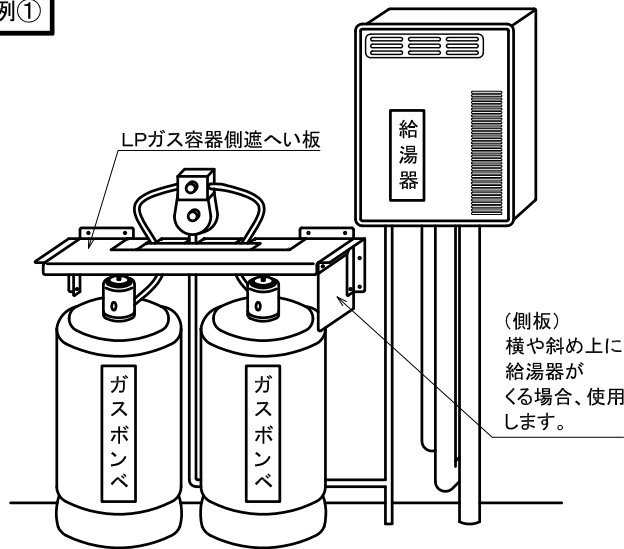


給湯器用LPガス容器側火気遮へい板取扱い説明書

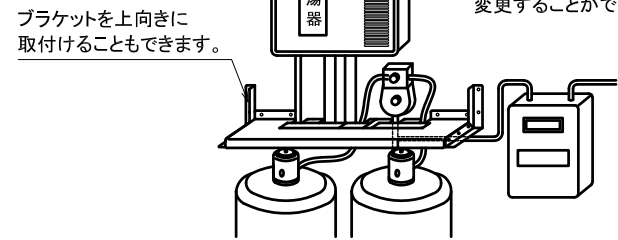
給湯器用LPガス容器側火気遮へい板使用方法

使用例①

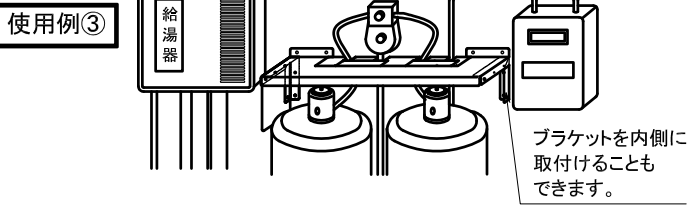


使用例②

設置場所の状況に応じて、ブラケットの取付向きを変更することができます。



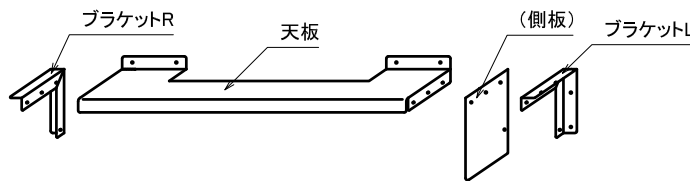
使用例③



給湯器用LPガス容器側火気遮へい板取り付け説明

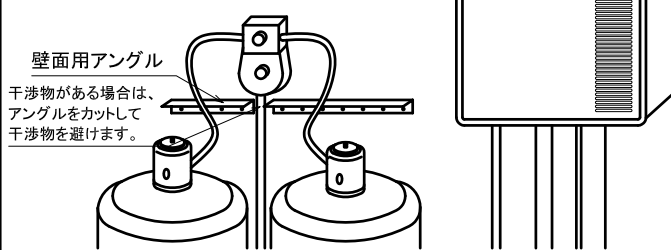
① 遮へい板の組立

- 設置位置を決めます。
- 給湯器等の機器との干渉がないかを見て、ブラケットの取付可能な向きを確認します。
- 天板の側面にブラケットを取り付けます。(固定箇所:各3ヶ所)
側板を使用する場合は、天板とブラケットで、はさみ込み取り付けます。(固定箇所:はさみ込み部分で3ヶ所・ブラケットと下部で1ヶ所)



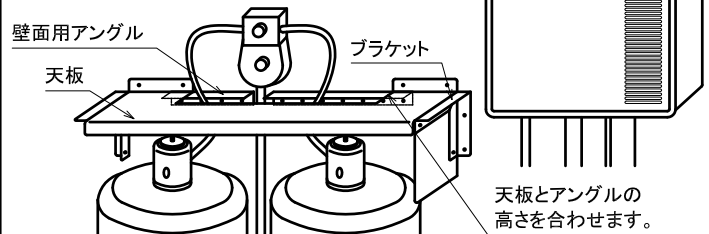
② 壁面用アングルの取り付け

- 壁面用アングルを壁に当て木ねじ用アンカーで固定します。(2ヶ所/本)
- 干渉物がある場合は、壁面用アングルをカットし、干渉物を避けて固定します。



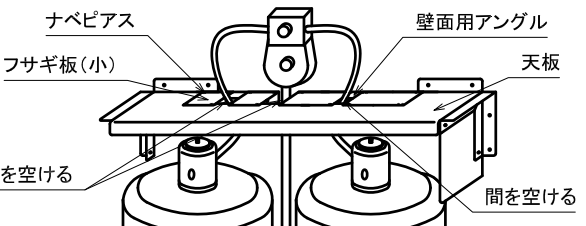
③ 遮へい板の取り付け

- 壁面用アングルの上面と天板の内側を合わせます。
- 天板とブラケットを壁に当て木ねじ用アンカーで固定します。(天板:4ヶ所・ブラケット:各2ヶ所)



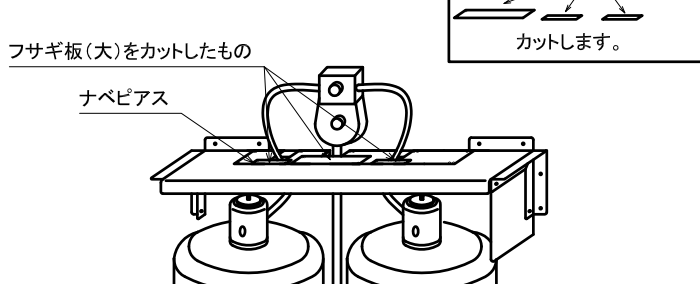
④ フサギ板(小)の取り付け

- フサギ板(小)を開口部に並べます。
- 干渉物がある所は、間を空けて並べます。(必要に応じて、適当な大きさにカットします。)
- フサギ板(小)を壁面用アングルと天板にナベピアスで固定し開口を塞ぎます。ナベピアスで固定できない場合は、両面テープで固定します。



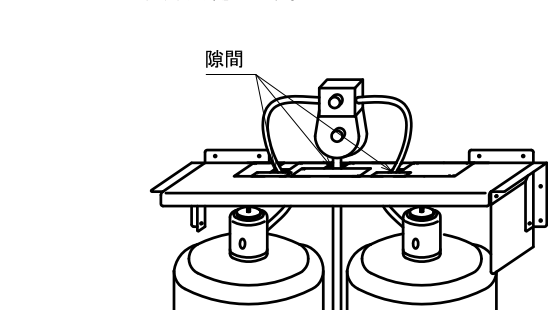
⑤ フサギ板(大)の取り付け

- フサギ板(大)を適当な大きさにカットします。
- フサギ板(大)をカットしたもので、前側の開口を塞ぎます。



⑥ 残った隙間の処理

- 残った隙間をパテ(別売)等で塞ぎます。
- これで取り付け完了です。



セーフティーパネル(別売)との接続方法

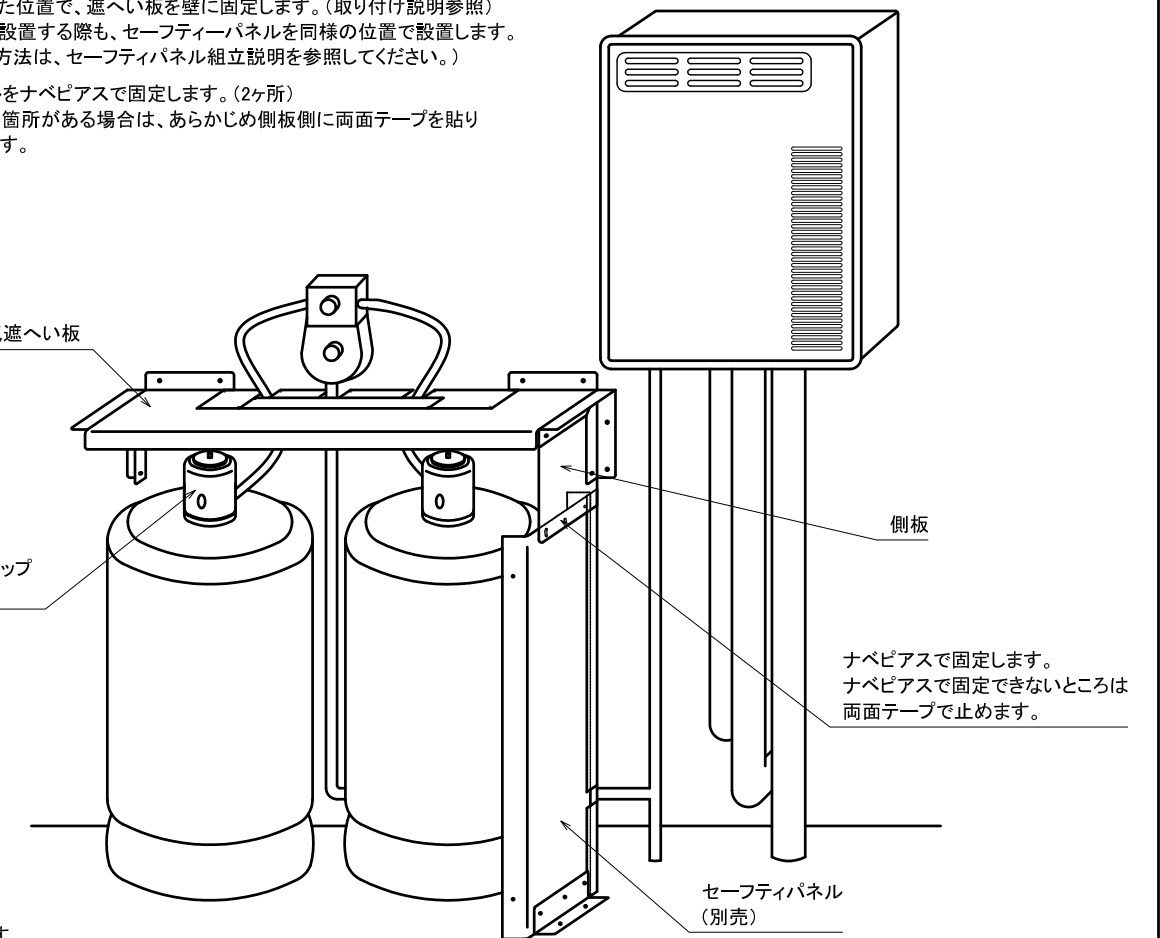
セーフティーパネル(別売)と接続することができます。

- 給湯器用LPガス容器側火気遮へい板を組み立てる際、付属の側板を取り付けます。(取り付け説明参照)
- セーフティーパネルをすでに設置されている場合は、セーフティパネルの外側の面と側板の内側の面を合わせた位置で、遮へい板を壁に固定します。(取り付け説明参照) セーフティーパネルを後に設置する際も、セーフティーパネルを同様の位置で設置します。(セーフティパネルの設置方法は、セーフティパネル組立説明を参照してください。)
- 側板とセーフティーパネルをナベピアスで固定します。(2ヶ所)
ナベピアスで固定できない箇所がある場合は、あらかじめ側板側に両面テープを貼りセーフティパネルに止めます。
- これで接続完了です。

給湯器用LPガス容器側火気遮へい板

セーフティキャップ(別売)

※左右どちらでも接続可能です。



部品リスト(1セット)

- 天板1
- ブラケットR1
- ブラケットL1
- 壁面用アングル1
- フサギ板(小)5
- フサギ板(大)1
- 側板1
- トラス小ねじM57
- フランジ付六角ナット7
- 木ねじ式アンカー(プラグ・木ねじ)14
- ナベピアスM3.530
- 両面テープ4


商品仕様

型 式	SPQ-107
材 質	遮へい板(スチール・粉体塗装) ブラケット(スチール・粉体塗装)
サ イ ズ	遮へい板(幅820×奥行430×高さ50mm) ブラケット(幅40×奥行410×高さ150mm)
出荷単位	2 個
生 産 国	日 本

⚠ 設置に関する注意事項

- 設置に関しては「液化石油ガス法」、「各都道府県の指導」、「ガス給湯器の設置基準」等に従って施工してください。

製造元

 新しい常識を創造する
株式会社 ホームハイテック